

まちに、夢を描こう。



2015年3月期 第2四半期決算説明会

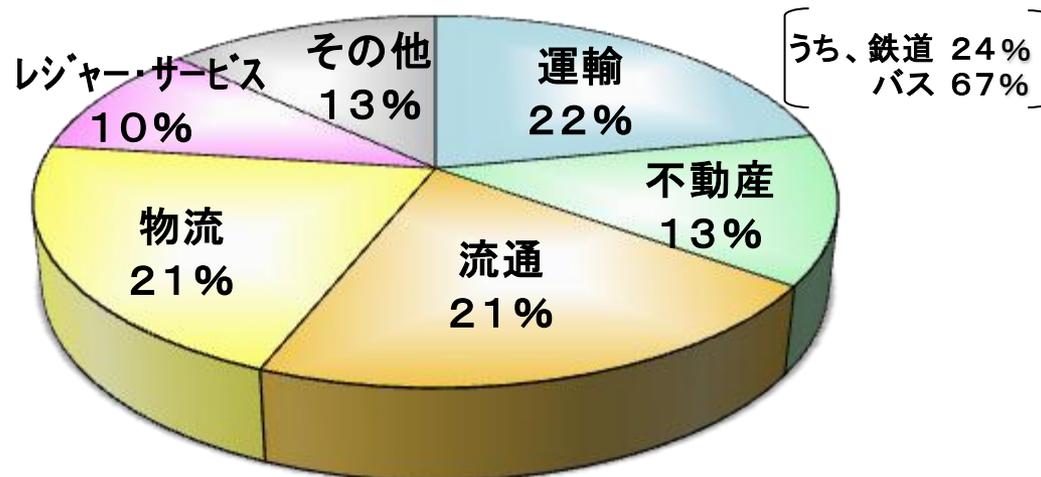
西日本鉄道株式会社(9031)

2014年11月14日(金)

連結営業概況(2015年3月期第2四半期)

- ◎ グループ会社 : 子会社75社、関連会社9社
- ◎ 特長
 - ◇ 福岡を事業基盤とする生活関連企業…運輸業、不動産業、流通業など
 - ◇ 西鉄ブランドを基盤に域外展開…国際物流事業、ホテル事業など

**連結営業収益
1,710 億円**



セグメント	運輸業	不動産業	流通業	物流業	レジャー・サービス業	その他
営業収益	418 億円	250 億円	388 億円	404 億円	187 億円	237 億円
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> > 鉄道 > バス > タクシー 	<ul style="list-style-type: none"> > 賃貸 > 分譲 > 管理 	<ul style="list-style-type: none"> > ストア 	<ul style="list-style-type: none"> > 国際物流 > 国内物流 	<ul style="list-style-type: none"> > ホテル > 旅行 	<ul style="list-style-type: none"> > 車両整備 > 建設

※調整額 ▲173 億円

連結損益の実績(全業)

	2015/3 第2四半期	2014/3 第2四半期	増減	増減率
営業収益	1,710 億円	1,702 億円	8 億円	0.5 %
営業利益	77 億円	92 億円	▲16 億円	▲16.9 %
経常利益	73 億円	87 億円	▲13 億円	▲15.4 %
四半期純利益	49 億円	49 億円	▲0.0 億円	▲0.1 %
減価償却費	91 億円	89 億円	1 億円	1.7 %
EBITDA	168 億円	182 億円	▲14 億円	▲7.8 %
設備投資	157 億円	100 億円	58 億円	57.7 %

➤ 営業収益(増収)

- 増収 … 物流業(取扱高増)、その他(受注増)
- 減収 … 運輸業(先買反動)、不動産業(分譲販売戸数減)、流通業(一部店舗の休業等) 外

➤ 営業利益・経常利益・四半期純利益(各利益とも減益)

- 増益 … 物流業、その他
- 減益 … 運輸業、不動産業、流通業 外

※ EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費(営業費)

※ 設備投資は単純集計です。

※ 記載金額は単位未満を四捨五入。ただし、1億円に満たない金額は小数点表示。

まちに、夢を描こう。



セグメント別損益状況

1. 運輸業

	2015/3 第2四半期	2014/3 第2四半期	増減	増減率
営業収益	418 億円	424 億円	▲5 億円	▲1.3 %
営業利益	20 億円	27 億円	▲7 億円	▲24.5 %

減価償却費	40 億円	41 億円	▲1 億円	▲2.4 %
EBITDA	61 億円	68 億円	▲8 億円	▲11.2 %
設備投資	25 億円	33 億円	▲8 億円	▲24.5 %

➤ 営業収益の主な増減要因

- 鉄道事業 … 回数券等の先買いの反動
- バス事業 … 回数券等の先買いの反動、高速バスでの減収

➤ 営業利益の主な増減要因

- 人件費(退職費用)や動力費等の増

～ 鉄道事業（運輸業の内訳）～

	2015/3 第2四半期	2014/3 第2四半期	増減	増減率
営業収益	110 億円	112 億円	▲2 億円	▲1.9 %
営業利益	15 億円	16 億円	▲2 億円	▲10.2 %

旅客収入	102 億円	104 億円	▲2 億円	▲2.0 %
旅客人員	52 百万人	53 百万人	▲0.3 百万人	▲0.7 %
（定期外）	23 百万人	23 百万人	▲1 百万人	▲2.8 %
（定期）	29 百万人	29 百万人	0.2 百万人	1.0 %

▶ 天神大牟田線旅客人員 ▲0.9%

● 定期外 ▲2.9%

● 定期 +0.6%

▶ 貝塚線旅客人員 +4.9%

● 定期外 +0.7%

● 定期 +9.0%

～ バス事業（運輸業の内訳）～

	2015/3 第2四半期	2014/3 第2四半期	増減	増減率
営業収益	311 億円	313 億円	(注) ▲2 億円	▲0.6 %
営業利益	6 億円	10 億円	▲4 億円	▲37.9 %

(注)バス事業内取引を除くと2億円(0.7%減)の減収です。

乗合収入	244 億円	246 億円	▲3 億円	▲1.1 %
貸切・特定収入	23 億円	23 億円	0.2 億円	1.2 %

乗合旅客人員	137 百万人	136 百万人	0.2 百万人	0.2 %
(定期外)	75 百万人	77 百万人	▲2 百万人	▲2.0 %
一般	72 百万人	73 百万人	▲2 百万人	▲2.1 %
高速	3 百万人	4 百万人	▲0.0 百万人	▲1.3 %
(定期)	61 百万人	59 百万人	2 百万人	3.1 %

2. 不動産業

	2015/3 第2四半期	2014/3 第2四半期	増減	増減率
営業収益	250 億円	271 億円	▲21 億円	▲7.8 %
営業利益	37 億円	46 億円	▲8 億円	▲18.4 %

減価償却費	29 億円	28 億円	1 億円	3.4 %
EBITDA	67 億円	75 億円	▲8 億円	▲10.1 %
設備投資	54 億円	40 億円	14 億円	34.7 %

➤ 営業収益・営業利益の主な増減要因

- 不動産分譲事業 … 戸建住宅やリノベーションマンション等の販売戸数の減

～不動産業の内訳～

《不動産賃貸事業》

	2015/3 第2四半期	2014/3 第2四半期	増減	増減率
営業収益	140 億円	135 億円	5 億円	3.9 %
営業利益	33 億円	33 億円	0.2 億円	0.8 %

《不動産分譲事業》

	2015/3 第2四半期	2014/3 第2四半期	増減	増減率
営業収益	74 億円	99 億円	▲25 億円	▲25.3 %
営業利益	3 億円	10 億円	▲8 億円	▲74.8 %

販売戸数	213 区画	315 区画	▲102 区画	▲32.4 %
(マンション)	103 戸	130 戸	▲27 戸	▲20.8 %
(戸建)	87 区画	132 区画	▲45 区画	▲34.1 %
(リノベーション)	23 戸	53 戸	▲30 戸	▲56.6 %

3. 流通業

	2015/3 第2四半期	2014/3 第2四半期	増減	増減率
営業収益	388 億円	404 億円	▲16 億円	▲4.1 %
営業利益	▲1 億円	2 億円	▲2 億円	-

減価償却費	6 億円	5 億円	1 億円	13.5 %
EBITDA	6 億円	7 億円	▲2 億円	▲21.8 %
設備投資	16 億円	7 億円	9 億円	121.5 %

➤ 営業収益・営業利益の主な増減要因

- ストア事業 … 消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動
一部店舗の建替・改装に伴う休業(西鉄ストア、インキューブ)

4. 物 流 業

	2015/3 第2四半期	2014/3 第2四半期	増減	増減率
営業収益	404 億円	360 億円	44 億円	12.3 %
営業利益	10 億円	8 億円	2 億円	25.9 %

減価償却費	4 億円	3 億円	1 億円	17.7 %
EBITDA	14 億円	12 億円	3 億円	23.4 %
設備投資	5 億円	2 億円	3 億円	107.2 %

▶ 営業収益・営業利益の主な増減要因

- 国際物流事業 ……アジアを中心とした取扱高の回復

～物流業の内訳～

《 国際物流事業 》

	2015/3 第2四半期	2014/3 第2四半期	増減	増減率
営業収益	403 億円	356 億円	(注) 47 億円	13.1 %
営業利益	9 億円	8 億円	(注) 1 億円	10.6 %

(注)円換算額の増加を除くと営業収益は37億円(10.0%増)の増収、営業利益は0.6億円(7.1%増)の増益です。

航空輸出(重量)	65 千トン	54 千トン	11 千トン	20.5 %
航空輸入(件数)	189 千件	177 千件	11 千件	6.7 %
海運輸出(TEU)	25 千TEU	24 千TEU	1 千TEU	6.0 %
海運輸入(TEU)	34 千TEU	29 千TEU	5 千TEU	18.7 %

※参考(上記数量の内、海外子会社取扱高)

航空輸出(重量)	36 千トン	30 千トン	6 千トン	20.2 %
航空輸入(件数)	130 千件	120 千件	9 千件	8.2 %
海運輸出(TEU)	17 千TEU	15 千TEU	2 千TEU	14.2 %
海運輸入(TEU)	21 千TEU	18 千TEU	3 千TEU	16.9 %

5. レジャー・サービス業

	2015/3 第2四半期	2014/3 第2四半期	増減	増減率
営業収益	187 億円	188 億円	▲1 億円	▲0.7 %
営業利益	8 億円	9 億円	▲1 億円	▲8.9 %

減価償却費	10 億円	10 億円	▲0.2 億円	▲2.2 %
EBITDA	18 億円	19 億円	▲1 億円	▲5.2 %
設備投資	51 億円	7 億円	43 億円	598.4 %

➤ 営業収益の主な増減要因

- ホテル事業 … 客室単価の上昇
- 旅行事業 … 海外旅行取扱高の増
- 広告事業 … 受注減

➤ 営業利益の主な増減要因

- ホテル事業 … 一部ホテルの改装に伴う費用の増

～レジャー・サービス業の内訳～

《 ホテル事業 》 (注)ホテル事業内取引を除くと0.3億円(0.4%増)の増収です。

	2015/3 第2四半期	2014/3 第2四半期	増減	増減率
営業収益	105 億円	104 億円	(注) 1 億円	0.9 %
営業利益	4 億円	5 億円	▲1 億円	▲14.1 %

《 旅行事業 》

	2015/3 第2四半期	2014/3 第2四半期	増減	増減率
営業収益	20 億円	19 億円	1 億円	2.8 %
営業利益	1 億円	▲1 億円	2 億円	-

《 その他レジャー・サービス業 》

	2015/3 第2四半期	2014/3 第2四半期	増減	増減率
営業収益	97 億円	99 億円	▲2 億円	▲2.5 %
営業利益	3 億円	5 億円	▲2 億円	▲40.0 %

・その他レジャー・サービス業…娯楽事業、飲食事業、広告事業、その他サービス事業

6. その他

	2015/3 第2四半期	2014/3 第2四半期	増減	増減率
営業収益	237 億円	224 億円	13 億円	5.9 %
営業利益	3 億円	1 億円	1 億円	99.7 %
減価償却費	4 億円	4 億円	0.3 億円	9.6 %
EBITDA	7 億円	5 億円	2 億円	31.7 %
設備投資	7 億円	10 億円	▲3 億円	▲30.2 %

➤ 営業収益・営業利益の主な増減要因

- 車両整備関連、建設関連事業での受注増等

・その他・・・ICカード事業、車両整備関連事業、建設関連事業、金属リサイクル事業

連結貸借対照表

		2014/9月末	2014/3月末	増減
資 産	流動資産	891 億円	981 億円	▲90 億円
	固定資産	3,529 億円	3,447 億円	81 億円
	合計	4,420 億円	4,429 億円	▲9 億円
負 債 ・ 純 資 産	流動負債	1,122 億円	1,399 億円	▲277 億円
	固定負債	1,971 億円	1,754 億円	216 億円
	(有利子負債残高)	1,759 億円	1,696 億円	63 億円
	負債合計	3,093 億円	3,154 億円	▲61 億円
	純資産合計	1,327 億円	1,275 億円	52 億円
	合計	4,420 億円	4,429 億円	▲9 億円

- 資産の主な増減要因
- 現金及び預金の減
 - 受取手形及び売掛金の減
 - 土地等の有形固定資産の増

- 負債の主な増減要因
- 支払手形及び買掛金の減
 - 長期借入金が増

- 純資産の主な増減要因
- 四半期純利益の計上等による増

連結キャッシュ・フロー

	2015/3 第2四半期	2014/3 第2四半期	増減
営業活動	37 億円	105 億円	▲68 億円
(税引前四半期純利益)	79 億円	87 億円	▲8 億円
(減価償却費)	91 億円	89 億円	1 億円
(法人税等の支払額)	▲53 億円	▲24 億円	▲30 億円
投資活動	▲151 億円	▲105 億円	▲46 億円
(固定資産の取得)	▲197 億円	▲146 億円	▲52 億円
財務活動	47 億円	▲21 億円	69 億円
(借入金・社債)	63 億円	▲5 億円	68 億円
現金等の四半期末残高	230 億円	283 億円	▲53 億円

まちに、夢を描こう。



2014年度 事業計画の取組み状況

(2015年3月期)

将来ビジョン2018『弛まぬ変革』

3rd Stage

第14次中期経営計画（2016～2018年度）

2nd Stage 第13次中期経営計画（2013～2015年度）
『グループ総合力の発揮による成長への挑戦』

<13次中計最終年度 数値計画>

営業利益 180億円

ROA 4.2%
(総資産営業利益率)

ROE 7.5%
(株主資本当期純利益率)

2014年度事業計画

重点戦略

1. 新たな収益源の開拓
2. 強固な収益基盤の確立
3. グループ総合力の発揮のための体制整備
4. CSR経営を文化とする企業風土の定着

1st Stage

第12次中期経営計画（2010～2012年度）

福岡市の人口増加(九州内一極集中)

2014年:152万人 → 2035年:160万人(推計)

アジアの玄関口・福岡市

- 外国人入国者数は過去最高の約88万人(2013年)

福岡市をグローバルMICE戦略都市に選定(2013年6月)

- MICE誘致競争を牽引できる都市育成への集中的な国の支援
- 国際コンベンション開催件数は5年連続国内第2位(2013年:253件)

福岡市を国家戦略特別区域に選定(2014年3月)

国提示の初期メニュー

- エリアマネジメントの民間開放(認定済)
- 雇用条件の明確化
- 外国人の在留資格の見直し など

+

規制改革の追加提案(福岡市)

- 法人設立手続の簡素化・スタートアップ減税
- 航空法の高さ制限の緩和(認定済) など

重点戦略

1. 新たな収益源の開拓

国際物流ビジネスの拡大

● 海外拠点の拡充

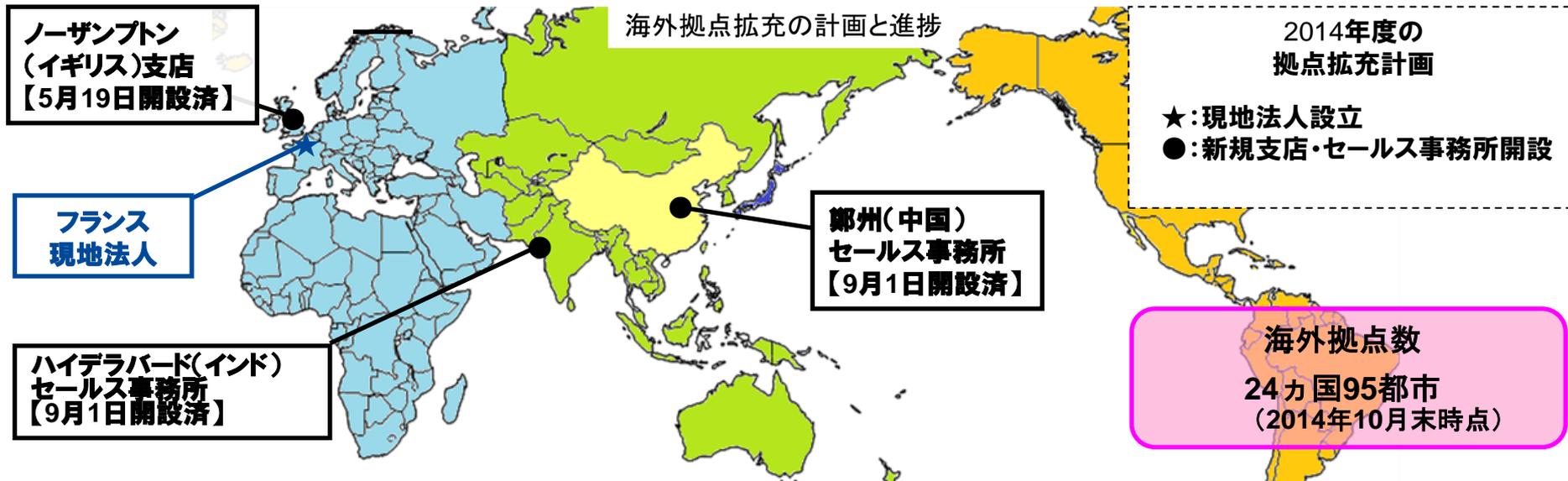
- 海外現地法人の設立
- 支店や駐在事務所の開設

● 海運事業、ロジスティクス事業の強化

- 九州海運営業所の新設（2014年4月）
- りんくうロジスティクスセンターの増床（2014年10月全棟竣工）



りんくうロジスティクスセンター増床後



業態や事業エリアの拡大

● マンション事業の拡大

- シニアマンション事業の拡大（「サンカルナ福岡城南」 2014年11月開業）
- 建替え事業の推進（「レジデンス百道」 2015年2月竣工予定・JV）
- 分譲マンション事業の拡大（「アイタワー」 2016年2月竣工予定・JV）
- 首都圏での分譲マンション開発（「グレースシアシティ川崎大師河原」 2016年4月竣工予定・JV）

所在地：福岡市城南区茶山
居室数：136室



サンカルナ福岡城南

所在地：福岡県福岡市東区
総戸数：285戸（西鉄持分50%）
規模：地上45階建



アイタワー竣工イメージ

重点戦略

1. 新たな収益源の開拓

業態や事業エリアの拡大

● ホテル事業のエリア拡大（国内・海外）

- ソウル（明洞）にソラリア西鉄ホテルを出店（2015年夏開業予定）
- 京都（三条エリア）にプレミアムタイプのホテルを出店（2016年夏開業予定）

● 雑貨館インキューブの全国展開

- 「イオンモール名古屋茶屋店」の出店（2014年6月）
- 本州3店舗（東京・京都・山口）、九州1店舗（小倉）出店（2014年10月）

所在地：京都府京都市中京区

敷地面積：約2,130㎡

客室数：200室程度



ホテル出店イメージ(京都)



所在地：東京都武蔵野市吉祥寺

店舗面積：約300㎡

インキューブ丸井吉祥寺店イメージ

重点戦略

1. 新たな収益源の開拓

新規事業の開発

- **住替え事業の推進**
 - 住まいに関するセミナーの開催
- **PPP事業への参入**
 - 福岡市中央児童会館等建替え整備事業の推進
- **生活支援サービス事業の展開**
 - ベンリーにしてつの店舗展開
 - 飲料水宅配サービス事業「いえすい」の開始
(2014年2月～)
- **地域との連携による農業関連事業への挑戦**
- **再生可能エネルギー事業**
 - 社有地での太陽光発電所新設 (3カ所目)



所在地：福岡県福岡市中央区

規模：地上7階建

4～7階は公共施設

↑中央児童会館建替え外観イメージ



↑バス営業所跡地での太陽光パネル設置

重点戦略

2. 強固な収益基盤の確立

天神エリアのプレゼンスアップに向けた取組み推進

● ソラリア街区の一体的改造

- ソラリアプラザビルの大規模改造
(商業スペース拡大、回遊性向上)

◆2015年春

地下2階店舗化、テナント刷新、エスカレーター一棟新設、
アメニティ機能強化、休憩スペース増設

- 天神バスセンターの全面リニューアルおよび機能向上

● 天神商業施設のリニューアル

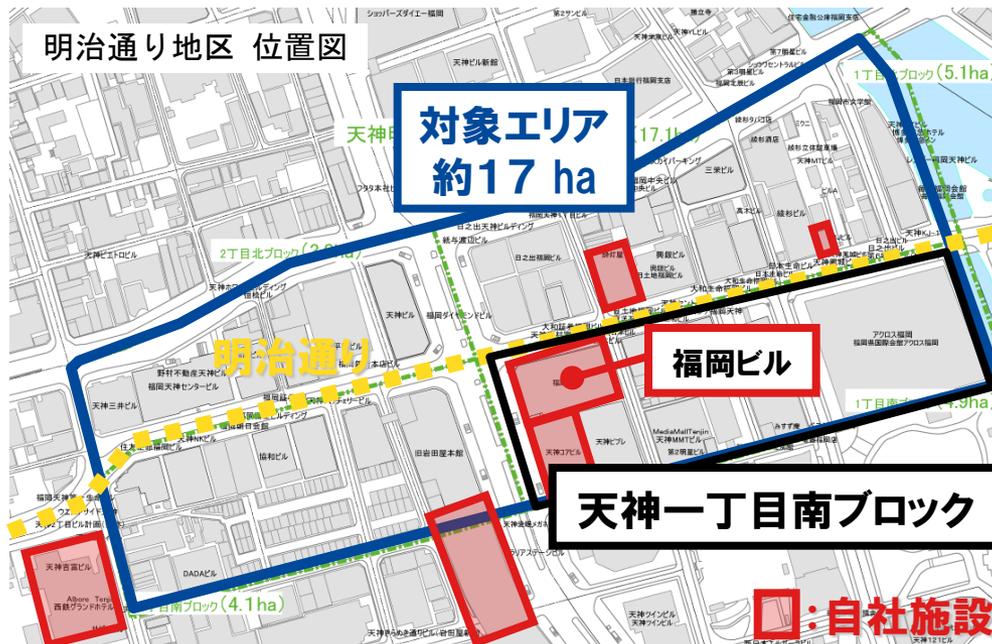
- ソラリアステージ・天神コアリニューアル



天神エリアのプレゼンスアップに向けた取組み推進

● 「天神明治通り街づくり協議会」 (MDC) による取組み

- 福岡市に「地域まちづくり計画」を登録 (2014年8月)
(今後登録された対象エリアで新築・改修などを行う場合、MDCとの協議が必要)
- 西鉄本社ビル (福岡ビル) を含む天神一丁目南ブロックの地区整備計画の策定



重点戦略

2. 強固な収益基盤の確立

住みよいまちづくりの推進

- 沿線における再開発
 - 交通拠点周辺再開発(飯塚など)
- 新しい郊外型沿線開発モデルの実現(三国が丘)
 - 駅を中心としたコンパクトなまちづくり
- 賃貸マンションの開発
 - 「ラクレイス西新レジデンシャルタワー」(地行)
(2014年9月竣工)
 - 「ラクレイス高宮」
(2015年3月竣工予定)



飯塚市再開発ビルイメージ



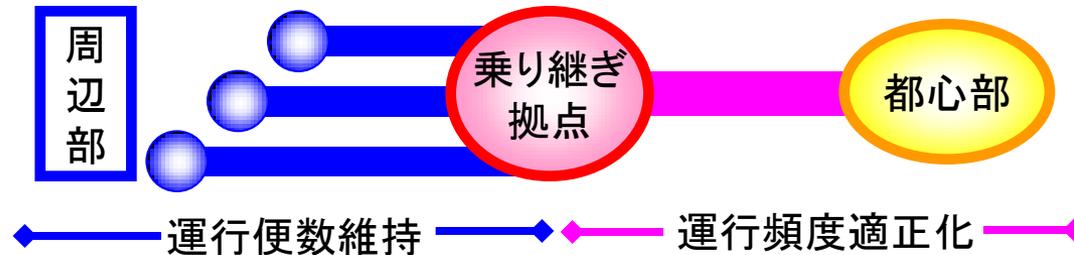
ラクレイス西新レジデンシャルタワー外観



交通サービスの安全性および利便性の向上

● 路線バスの乗り継ぎ促進による路線再編

- バスの主要拠点 藤崎バスターミナル(福岡市早良区)で実施(2014年11月)



● 鉄道施設の安全対策とサービス向上

- 連続立体交差事業の推進
- 高架橋耐震強化
- 新列車案内表示システムの導入と情報発信機能の強化

● 鉄道とバスの連携促進

- バス定期券(グランドパス65)利用者に対する鉄道運賃割引サービス導入(2014年10月)
- 企画乗車券の発売(「FUKUOKA 2DAYS PASS」の展開、「太宰府周遊旅人きっぷ」)

重点戦略

2. 強固な収益基盤の確立

ぼくナイスくん
なかよくしてね!



スーパーマーケット事業の体質強化

● 店舗ブランドの確立

- 売場・商品の改善(生鮮・惣菜部門の強化)
- お客さまへのサービス強化(コンシェルジュ、宅配サービスなど)



コンシェルジュの様子

● 新業態の展開

- 都市型小型店「レガネットキュート」の展開

● 構造改革の推進

- 改装・建替え等による収支改善
- 原価・販売管理費の低減



西鉄ストア津屋崎店建替え後イメージ

重点戦略

2. 強固な収益基盤の確立

インバウンドの取組み強化

● 組織体制の整備

(グループ全体での取組み促進)

- インバウンド・MICE戦略担当部署の新設 (2014年7月)

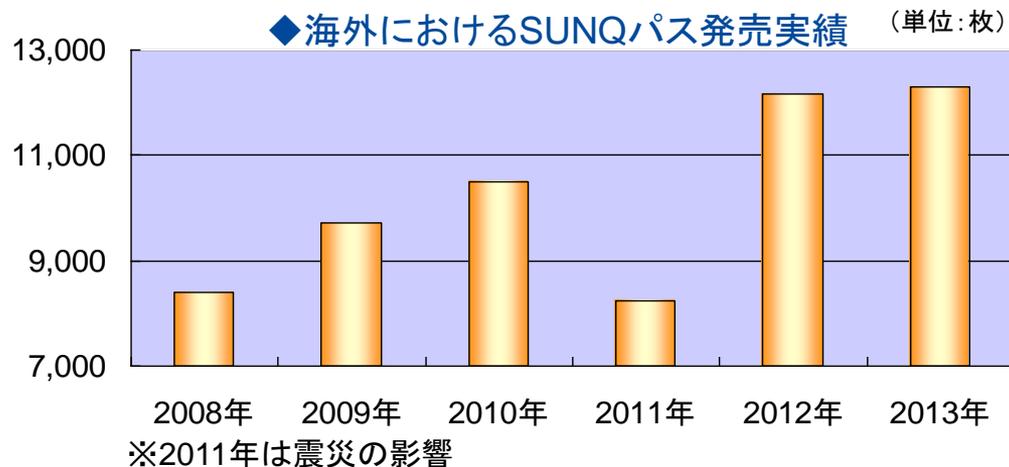
● 観光地へのアクセス向上

- 太宰府観光列車「旅人」運行開始(2014年3月)
- 太宰府ライナーバス「旅人」運行開始(2014年4月)

● SUNQパスの海外向け営業強化



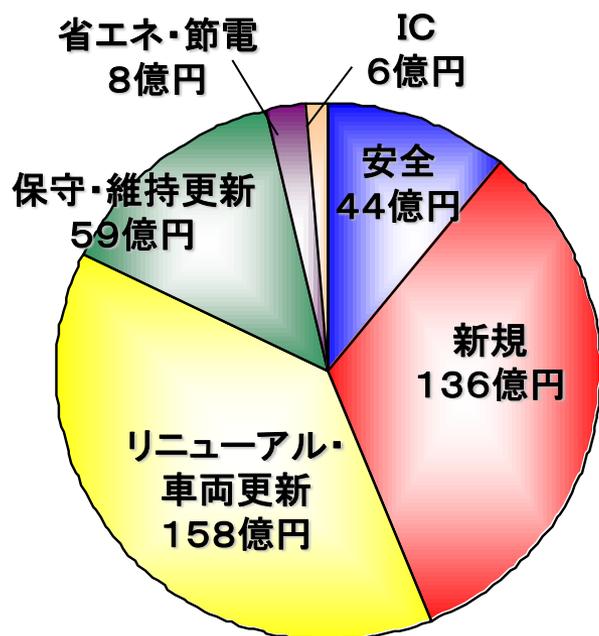
九州のバス乗り放題乗車券「SUNQパス」



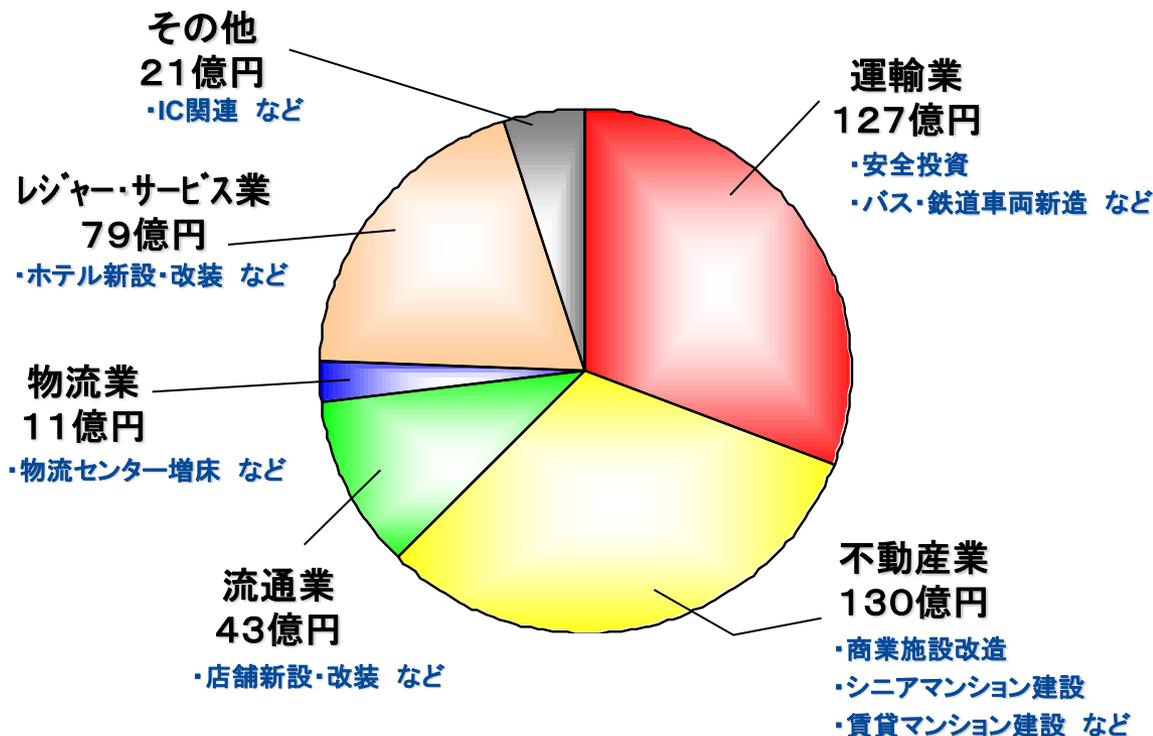
2015年3月期 設備投資計画

【2015年3月期 総投資額 412億円】

◎ 投資種別の内訳



◎ セグメント別の内訳



◎ 投資額の推移

年度	2011/3	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3計画
総投資額	265億円	194億円	195億円	358億円	412億円

まちに、夢を描こう。



2015年3月期 収支予想

2015年3月期 連結収支予想

	2015/3 (予想)	2014/3 (実績)	増減	増減率
営業収益	3,535 億円	3,550 億円	▲15 億円	▲0.4 %
営業利益	157 億円	203 億円	▲46 億円	▲22.8 %
経常利益	145 億円	198 億円	▲53 億円	▲26.6 %
当期純利益	90 億円	113 億円	▲23 億円	▲20.6 %
減価償却費	192 億円	187 億円	5 億円	2.9 %
EBITDA	351 億円	392 億円	▲41 億円	▲10.5 %
設備投資	412 億円	358 億円	54 億円	15.1 %

※ EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費(営業費)

※ 設備投資は単純集計です。

※ 記載金額は単位未満を四捨五入。ただし、1億円に満たない金額は小数点表示。

2015年3月期 セグメント別収支予想

		2015/3 (予想)	2014/3 (実績)	増減額	営業利益の増減要因
運 輸 業	営業収益	838 億円	846 億円	▲8 億円	● 鉄道、バス事業の減益 (消費税率引き上げの影響)
	営業利益	41 億円	50 億円	▲9 億円	
不 動 産 業	営業収益	566 億円	591 億円	▲25 億円	● 不動産分譲事業の減益 (販売戸数の減)
	営業利益	80 億円	105 億円	▲25 億円	
流 通 業	営業収益	804 億円	809 億円	▲5 億円	● ストア事業の減益 (改装・建替による休業等)
	営業利益	1 億円	5 億円	▲4 億円	
物 流 業	営業収益	806 億円	766 億円	40 億円	● 国際物流事業の増益 (取扱高の回復)
	営業利益	22 億円	17 億円	5 億円	
レジャー・サービス業	営業収益	379 億円	387 億円	▲8 億円	● ホテル事業の減益 外 (改装費用、新規開発費用等の増)
	営業利益	12 億円	18 億円	▲6 億円	
そ の 他	営業収益	512 億円	533 億円	▲21 億円	● 建設関連事業の減益 (前期好環境)
	営業利益	8 億円	13 億円	▲5 億円	

<参考> 2015年3月期 セグメント別予想(減価償却費・EBITDA・設備投資)

		2015/3(予想)	2014/3(実績)	増減額
運 輸 業	減 価 償 却 費	87 億円	87 億円	0.0 億円
	E B I T D A	128 億円	137 億円	▲9 億円
	設 備 投 資	127 億円	111 億円	16 億円
不 動 産 業	減 価 償 却 費	61 億円	58 億円	3 億円
	E B I T D A	142 億円	164 億円	▲22 億円
	設 備 投 資	130 億円	161 億円	▲31 億円
流 通 業	減 価 償 却 費	12 億円	11 億円	1 億円
	E B I T D A	13 億円	16 億円	▲3 億円
	設 備 投 資	43 億円	23 億円	20 億円
物 流 業	減 価 償 却 費	8 億円	7 億円	1 億円
	E B I T D A	30 億円	24 億円	6 億円
	設 備 投 資	11 億円	17 億円	▲6 億円
レジャー・サービス業	減 価 償 却 費	20 億円	21 億円	▲0.3 億円
	E B I T D A	32 億円	38 億円	▲6 億円
	設 備 投 資	79 億円	25 億円	54 億円
そ の 他	減 価 償 却 費	10 億円	9 億円	1 億円
	E B I T D A	18 億円	23 億円	▲5 億円
	設 備 投 資	21 億円	20 億円	1 億円

<参考> 2015年3月期 主なセグメント収支予想

			2015/3 (予想)	2014/3 (実績)	増減額
運輸業	鉄道事業	営業収益	222 億円	227 億円	▲5 億円
		営業利益	29 億円	35 億円	▲5 億円
	バス事業	営業収益	617 億円	621 億円	▲4 億円
		営業利益	11 億円	16 億円	▲5 億円
不動産業	不動産賃貸事業	営業収益	284 億円	278 億円	6 億円
		営業利益	61 億円	64 億円	▲4 億円
	不動産分譲事業	営業収益	206 億円	235 億円	▲28 億円
		営業利益	16 億円	35 億円	▲20 億円
物流業	国際物流事業	営業収益	810 億円	766 億円	44 億円
		営業利益	19 億円	17 億円	2 億円
サービス業 レジャー	ホテル事業	営業収益	210 億円	212 億円	▲3 億円
		営業利益	7 億円	11 億円	▲3 億円
	旅行事業	営業収益	40 億円	40 億円	▲1 億円
		営業利益	2 億円	1 億円	1 億円

《参考》2015年3月期第2四半期 連結損益実績(百万円単位)

◆連結損益実績

(単位:百万円、%)

	2015/3期 第2四半期	2014/3期 第2四半期	増減額	増減率
営業収益	171,005	170,192	812	0.5
営業利益	7,661	9,216	▲ 1,554	▲ 16.9
経常利益	7,318	8,655	▲ 1,336	▲ 15.4
四半期純利益	4,871	4,877	▲ 6	▲ 0.1

◆セグメント別 営業収益・営業利益

	営業収益				営業利益			
	2015/3期 第2四半期	2014/3期 第2四半期	増減額	増減率	2015/3期 第2四半期	2014/3期 第2四半期	増減額	増減率
運輸業	41,832	42,365	▲ 533	▲ 1.3	2,045	2,710	▲ 664	▲ 24.5
不動産業	24,961	27,081	▲ 2,119	▲ 7.8	3,730	4,570	▲ 839	▲ 18.4
流通業	38,750	40,399	▲ 1,649	▲ 4.1	▲ 76	150	▲ 226	-
物流業	40,367	35,950	4,416	12.3	1,045	830	215	25.9
レジャー・サービス業	18,669	18,802	▲ 132	▲ 0.7	812	892	▲ 79	▲ 8.9
その他	23,686	22,366	1,319	5.9	263	132	131	99.7
調整額	▲ 17,263	▲ 16,774	▲ 488	-	▲ 161	▲ 70	▲ 91	-
連結	171,005	170,192	812	0.5	7,661	9,216	▲ 1,554	▲ 16.9

◆サブセグメント別 営業収益

	2015/3期 第2四半期	2014/3期 第2四半期	増減額	増減率
鉄道事業	11,015	11,234	▲ 218	▲ 1.9
バス事業	31,092	31,289	▲ 197	▲ 0.6
タクシー事業	1,893	1,956	▲ 63	▲ 3.2
運輸関連事業	2,143	2,204	▲ 61	▲ 2.8
消去	▲ 4,313	▲ 4,320	6	-
運輸業	41,832	42,365	▲ 533	▲ 1.3
不動産賃貸事業	14,013	13,488	525	3.9
不動産分譲事業	7,380	9,875	▲ 2,494	▲ 25.3
その他不動産事業	4,934	5,092	▲ 158	▲ 3.1
消去	▲ 1,367	▲ 1,374	7	-
不動産業	24,961	27,081	▲ 2,119	▲ 7.8
ストア事業	39,592	40,957	▲ 1,364	▲ 3.3
消去	▲ 842	▲ 558	▲ 284	-
流通業	38,750	40,399	▲ 1,649	▲ 4.1
国際物流事業	40,327	35,646	4,680	13.1
国内物流事業	4,712	4,500	211	4.7
消去	▲ 4,671	▲ 4,197	▲ 474	-
物流業	40,367	35,950	4,416	12.3
ホテル事業	10,515	10,422	93	0.9
旅行事業	2,002	1,947	55	2.8
娯楽事業	1,658	1,671	▲ 12	▲ 0.7
飲食事業	2,023	2,065	▲ 42	▲ 2.0
広告事業	3,390	3,468	▲ 78	▲ 2.2
その他サービス事業	2,610	2,724	▲ 114	▲ 4.2
消去	▲ 3,531	▲ 3,496	▲ 34	-
レジャー・サービス業	18,669	18,802	▲ 132	▲ 0.7
ICカード事業	339	327	12	3.7
車両整備関連事業	14,997	14,143	853	6.0
建設関連事業	6,608	6,008	600	10.0
金属リサイクル事業	2,239	2,209	30	1.4
消去	▲ 498	▲ 321	▲ 176	-
その他	23,686	22,366	1,319	5.9

《参考》2015年3月期第2四半期 連結損益実績(百万円単位)

まちに、夢を描こう。



本資料には、将来の業績に関わる記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を含んだものです。将来の業績は経営環境の変化などにより目標と異なる可能性があることにご留意ください。